

予防医学の要とは… 現代の医療体制への挑戦

1992年に20兆円だった日本の医療費は、現在43兆円を超えている。日本の膨大な医療費は、健康管理の問題と切り離せない。コンビニエンスストア、ファストフードが広がることにより、偏食、不当なダイエットが助長され、「カロリー」と「栄養」を混同するなどの誤解も一般に見受けられる。幼児期からの食習慣、家庭環境は「健康」のための必要条件であるが、沖縄県では実行できていない家庭も多いのではないだろうか。このような状態ではこども達の精神発育や健康寿命にも影響を及ぼす。教育保障制度の構築と健康教育の充実が求められる。

今回、「予防医学」と「分子栄養学」の観点から、貧困と健康、そして現代医療問題を考えたい。人体はタンパク質や脂質など多種多様な栄養物質で構成されている。適切な栄養摂取と代謝によって血液をきれいにすることが、いかに健康につながるかを見ていく。

登壇者紹介



やびく かつこ
屋比久 勝子 (琉球温熱療法院 院長)

20年以上、ピアノ指導をしていたが、両親指が動かなくなり断念。また、40代とき、諸々の病気に悩まされ、人体は熱と栄養で生かされている事に目を向け、分子栄養学を独学。独自で開発した温熱機器の特許取得(アメリカ、日本)、管理型医療機器認証取得(厚生労働省)、現在は、韓国の明智大学院自然治療学科の客員教授を務めながら、日本国内での講演に加え、北京(北京中醫院)、上海、安吉にて分子栄養学の指導講演を行う。



いちいし えいいちろう
一石 英一郎 (国際医療福祉大学病院内科 / 予防医学センター 教授)

京都府立医科大学大学院内科学専攻修了、医学博士。東京大学大学院遺伝学教室特別研究生(薬学)、国立北陸先端科学技術大学院大学(工学)教授、東北大学先進工学研究機構(医工学)客員教授、東北大学大学院(医学)客員教授を経て現職。日本内科学会指導医、日本統合医療学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本抗加齢医学会専門医/評議員、厚生労働省認定臨床研修指導医、多くの国際医学雑誌の編集委員やゲスト編集長を歴任。



あきの こうぞう
秋野 公造 (参議院議員 / 医学博士)

参議院議員(2期目)医学博士
平成4年長崎大学医学部卒業。長崎大学、米国 Cedars-Sinai Medical Center、厚生労働省に勤務。平成22・28年参議院議員選挙で当選。環境・内閣府大臣政務官、参議院災害対策特別委員長、法務委員長を歴任。



りゅうごう
劉 剛 (沖縄大学人文学部 国際コミュニケーション学科 教授 / コーディネーター)

中国雲南大学大学院修了 歴史学博士(中国国务院学位弁)。専門領域:中国問題学・文化人類学・環境民族学・日中関係及び沖縄問題など。中国雲南省民族研究所教授などを経て、1999年から本大学人文学部国際コミュニケーション学科教授。日本東京女子大学比較研究所など数か所の大学の客員研究員及びゲスト講師を歴任、中国数か所の大学客員教授・兼任教授を担任。ドイツフランクフルト大学訪問学者を経験。比較文化学者。

日時 2017年 **12/9 Sat.** 14:00~17:00

会場 **沖縄大学アネックス共創館**

プログラム

14:00 - 開会・ご挨拶

14:15

基調講演

「予防に勝る治療はなし」

屋比久 勝子 (琉球温熱療法院 院長)

14:55

基調講演

「予防医学と分子栄養学の連携による
未来医療の可能性」

一石 英一郎 (国際医療福祉大学病院内科 / 予防医学センター 教授)

15:25

基調講演

「命は食にあり
～食から疾病の重症予防について考える～」

秋野 公造 (参議院議員 / 医学博士)

15:55 - 休憩

16:05

フロア討論

「予防医学の【要】とは…
現代の医療体制への挑戦」

質疑応答

コーディネーター: 劉剛 (沖縄大学人文学部 / 国際コミュニケーション学科 教授)

16:50 - 閉会・ご挨拶

17:00 - 閉会

聴講料
無料
事前予約不要